

○午後零時十分休憩―一時五十分再會

全農全國會議本部 上田 晉 市

一、九二八年以後の世界恐慌は全世界の労働者農民を窮乏のドン底につき落した、吾國內三百五十萬の失業者も餓死に曝されてゐる。然るにソビエトロシアに於ける經濟生活の飛躍は希望と光明に輝いてゐる、即ち一週五日制度、七時間労働にて賃銀は戦前より五割増加してゐる、其の暴風的發展は―(注意)

かゝる際國內に於ける窮乏のドン底に喘ぐ労働者農民は資本家地主に對し徹底せる闘争を行つてゐる、労働争議は部分的闘争から決定的闘争へ進んで來た、都市を見ても農村を見ても革命の急開展が見られる、資本家は此等に對し暴壓を加へてゐる、吾々は之に對し戦線を擴大強

化してゐる、第十一回大會は切迫しつゝある大なる情勢に對して諸君の革命的な行爲―(中止)

福岡消費組合 浦 田 武 雄

被壓迫大衆の先頭に立つ戰闘的同志諸君願ひるに日本無産運動は過去十數年に於て四、一六、三、一五事件を初めとしてあらゆる彈壓―(注意)、然しながら嵐は正しい血を作り上げるのである―(中止)

○メッセーシ朗讀中、中止檢束を加へんとして議場授然となり遂に檢束者三名を出した。

○議長

熱のあるのは非常に喜ぶ、熱がなければならぬ。然し大會を無事終了させたいと思ふ。吾々は何百人引かるゝとも熱くものにあらざ、途中に於て解散さるゝことを避けねばならぬ。